

食育及び食品ロスに関するアンケート

山梨県県民生活部 県民生活安全課

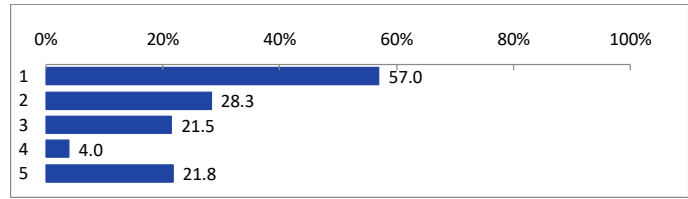
県民の皆様の食育及び食品ロスに対する考え方を把握し、県の施策の参考とさせていただくため、県政モニターによるアンケートを実施しました。

- アンケートの実施時期
令和6年12月
- 県政モニター
ネットモニター400名
- 回答者数
インターネットによるアンケート調査 400名

アンケート結果は次のとおりです。

Q1. あなたが同居しているご家族はいますか。あてはまるものをすべて選んでください。

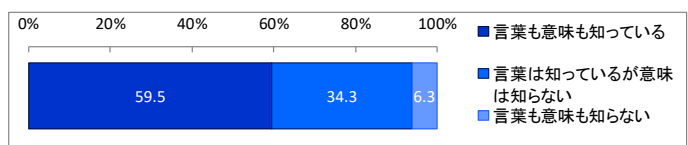
	n	%
全体	400	100.0
1 配偶者	228	57.0
2 子供	113	28.3
3 親	86	21.5
4 その他：	16	4.0
5 いない（一人暮らし）	87	21.8



約 8 割が家族と同居しており、「配偶者」が 57.0%と最も高く、次いで「子供」が 28.3%となっています。

Q2. あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていますか。

	n	%
全体	400	100.0
1 言葉も意味も知っている	238	59.5
2 言葉は知っているが意味は知らない	137	34.3
3 言葉も意味も知らない	25	6.3

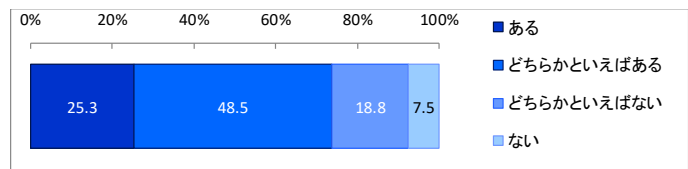


約 6 割が「食育」の「言葉と意味を知っている」一方で、「言葉は知っているが意味は知らない」が 34.3%、「言葉も意味も知らない」が 6.3%となっています。

Q3. あなたは、「食育」に関心がありますか。

※食育：様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むこと

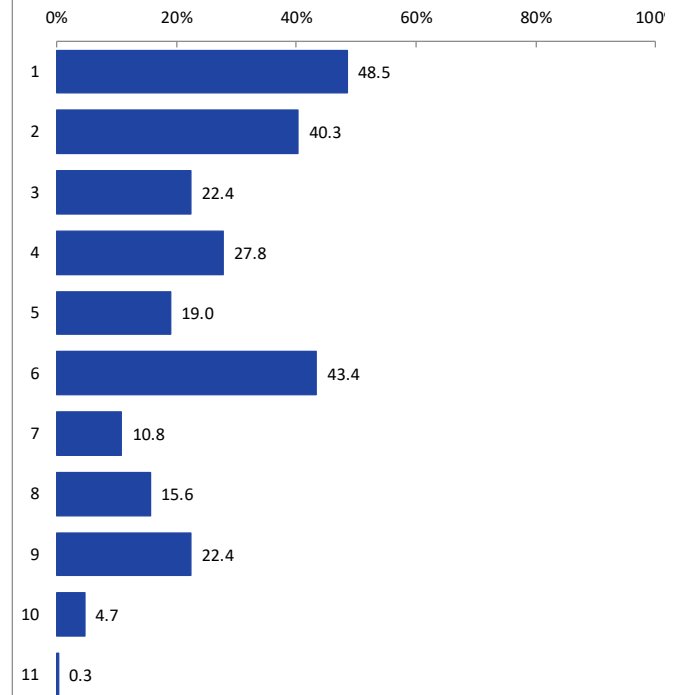
	n	%
全体	400	100.0
1 ある	101	25.3
2 どちらかといえばある	194	48.5
3 どちらかといえはない	75	18.8
4 ない	30	7.5



「食育」に「関心がある」「どちらかといえばある」が 73.8%、「関心がない」「どちらかといえはない」が 26.3%となっています。

Q4. 前問で「ある」「どちらかといえばある」と回答した方にお伺いします。あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

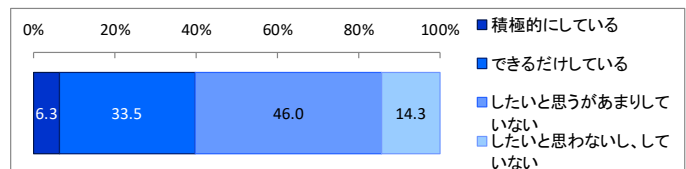
	n	%
全体	295	100.0
1 子どもの心身の健全な発育のために必要だから	143	48.5
2 食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事など）が問題になっているから	119	40.3
3 自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから	66	22.4
4 食品の安全確保（食中毒防止や食品の異物混入対策など）が重要だから	82	27.8
5 食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから	56	19.0
6 食品廃棄物（食品ロス）の削減が必要だから	128	43.4
7 有機農業など自然環境と調和した食料生産が重要だから	32	10.8
8 やせすぎや肥満が問題になっているから	46	15.6
9 食に関する地域の文化や伝統を守ることが重要だから	66	22.4
10 消費者と生産者の間の交流や信頼関係が足りないと思うから	14	4.7
11 その他：	1	0.3



「食育」に関心がある理由として、「子供の心身の健全な発育のために必要だから」が48.5%と最も高く、次いで「食品廃棄物（食品ロス）の削減が必要だから」が43.4%となっています。

Q5. あなたは、日頃から健全な食生活を行うために何らかの「食育に関する活動」をしていますか。

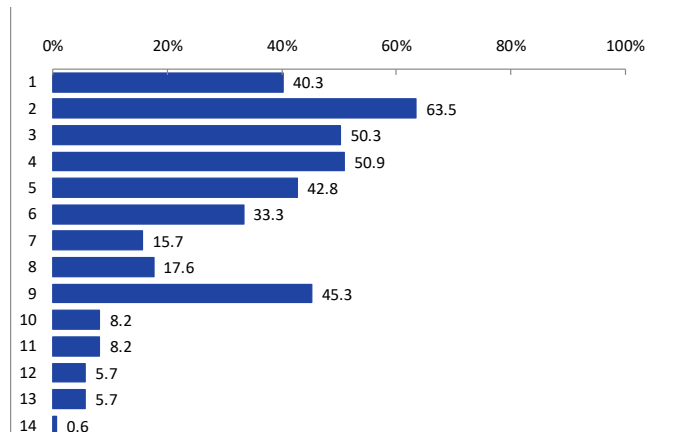
	n	%
全体	400	100.0
1 積極的にしている	25	6.3
2 できるだけしている	134	33.5
3 したいと思うがあまりしていない	184	46.0
4 したいと思わないし、していない	57	14.3



「食育」に関する活動を「積極的にしている」「できるだけしている」が39.8%であり、「したいと思うがあまりしていない」が最も高い46.0%となっています。

Q6. 前問で「積極的にしている」「できるだけしている」と回答した方にお伺いします。あなたがしている「食育に関する活動」の内容はどのようなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。

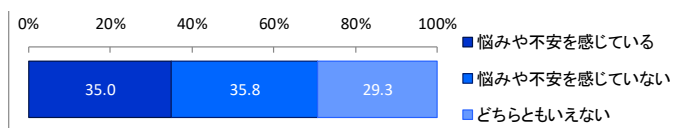
	n	%
全体	159	100.0
1 自分にとっての望ましい食習慣の理解	64	40.3
2 栄養バランスの取れた食生活の実践	101	63.5
3 自分で食品を選んだり料理を作る	80	50.3
4 家族で食事をする	81	50.9
5 より安全な食品の購入	68	42.8
6 地元の農畜水産物の積極的な使用	53	33.3
7 郷土食などの食文化の継承	25	15.7
8 食料自給状況に関する理解の向上	28	17.6
9 食品ロス削減や再生利用に関する理解の向上	72	45.3
10 農業生産・加工活動への参加・体験	13	8.2
11 食生活の改善に関する勉強会への参加	13	8.2
12 食に関する伝統行事への参加	9	5.7
13 食に関わるボランティア活動への参加	9	5.7
14 その他：	1	0.6



「食育」に関する活動は、「栄養バランスの取れた食生活の実践」が63.5%と最も高く、次いで「家族で食事をする」が50.9%、「自分で食品を選んだり料理を作る」が50.3%となっています。

Q7. あなたは、日頃の食生活での悩みや不安がありますか。

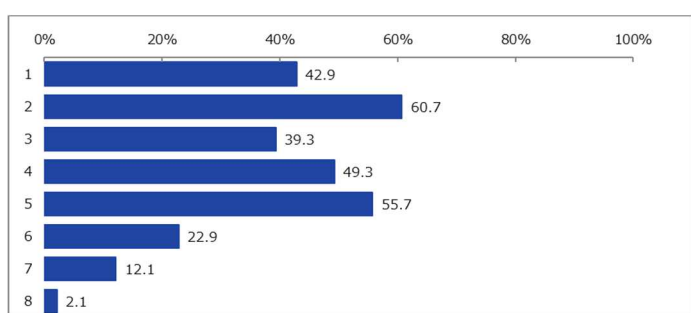
	n	%
全体	400	100.0
1 悩みや不安を感じている	140	35.0
2 悩みや不安を感じていない	143	35.8
3 どちらともいえない	117	29.3



日頃の食生活に「悩みや不安を感じている」が35.0%、「悩みや不安を感じていない」が35.8%であり、「どちらともいえない」を含め、それぞれがほぼ同程度となっています。

Q8. 前問で「悩みや不安を感じている」と回答した方にお伺いします。あなたが悩みや不安を感じていることは、どのようなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。

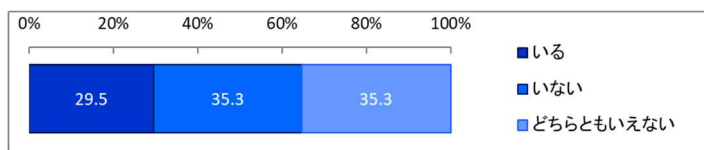
	n	%
全体	140	100.0
1 食品の安全性	60	42.9
2 家族や自分の健康	85	60.7
3 将来の食料供給	55	39.3
4 家族や自分の食生活上の問題（栄養バランスの偏り、不規則な食事等）	69	49.3
5 家計や食費	78	55.7
6 食に関する情報の氾濫	32	22.9
7 食文化の継承	17	12.1
8 その他：	3	2.1



日頃の食生活に悩みや不安を感じている内容は、「家族や自分の健康」が60.7%と最も高く、次いで「家計や食費」が55.7%となっています。

Q9. あなたは、郷土食や伝統食などの地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸使いなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。

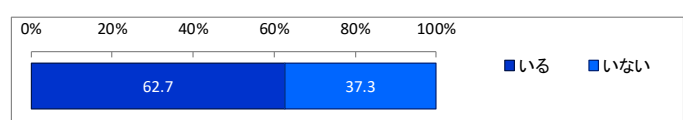
	n	%
全体	400	100.0
1 いる	118	29.5
2 いない	141	35.3
3 どちらともいえない	141	35.3



地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、食べ方・作法は、「受け継いでいない」「どちらとも言えない」が各 35.3%であり、「受け継いでいる」の 29.5%より高くなっています。

Q10. 前問で「いる」と回答した方にお伺いします。あなたが受け継いだ、郷土食や伝統食などの地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸使いなどの食べ方・作法を、地域や次世代（子供や孫を含む）に対して伝えていますか。

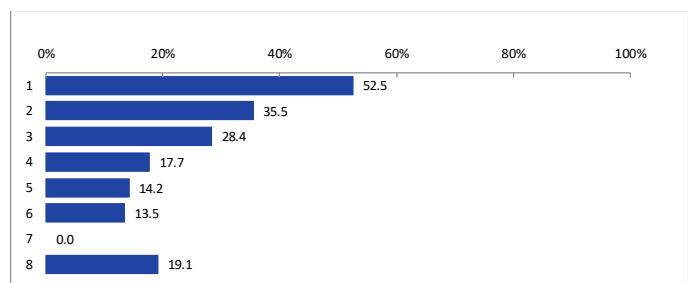
	n	%
全体	118	100.0
1 いる	74	62.7
2 いない	44	37.3



自身が受け継いだ料理や味、食べ方・作法は、「受け継いでいる」が 62.7%となっています。

Q11. 前問で「いない」と回答した方にお伺いします。あなたは、郷土食や伝統食など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸使いなどの食べ方・作法を受け継いでいくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

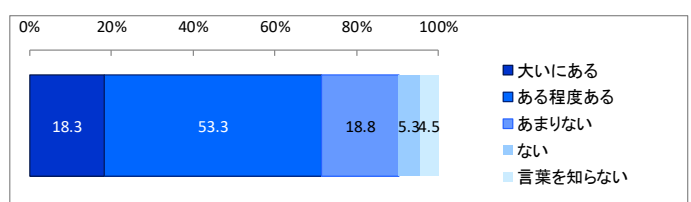
	n	%
全体	141	100.0
1 親等から家庭で教わること	74	52.5
2 子供の頃に学校で教わること	50	35.5
3 地域コミュニティで教わること	40	28.4
4 食に関するイベント等で教わること	25	17.7
5 書籍やテレビなどのメディアで教わること	20	14.2
6 結婚、出産等の人生の節目で教わること	19	13.5
7 その他：	0	0.0
8 受け継ぐ必要はない	27	19.1



地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、食べ方・作法を受け継いでいくために必要なことは、「親等から家庭で教わること」が 52.5%と最も高く、次いで「子供の頃に学校で教わること」が 35.5%となっています。

Q12. あなたは、「地産地消」の取組に興味がありますか。

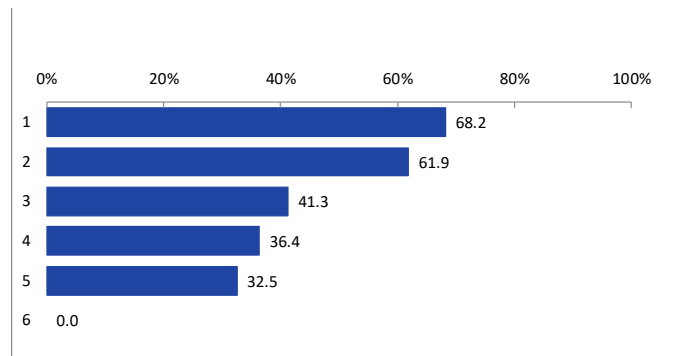
	n	%
全体	400	100.0
1 大いにある	73	18.3
2 ある程度ある	213	53.3
3 あまりない	75	18.8
4 ない	21	5.3
5 言葉を知らない	18	4.5



「地産地消」の取組への興味は「大いにある」「ある程度ある」が 71.6%であり、「興味がない」「あまりない」は 24.1%となっています。

Q13. 前問で「大いにある」「ある程度ある」と回答した方にお伺いします。地産地消の魅力は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

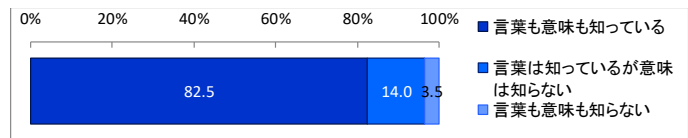
	n	%
全体	286	100.0
1 新鮮な農産物が手に入る	195	68.2
2 地元農産物の利活用を通じて、地域農業の活性化につながる	177	61.9
3 安全で安心である	118	41.3
4 安価に農産物が手に入る	104	36.4
5 地域の農業や伝統的な食文化などに対する理解が深まる	93	32.5
6 その他：	0	0.0



「地産地消」の魅力は、「新鮮な農産物が手に入る」が68.2%と最も高く、次いで「地元農産物の利活用を通じて地域農業の活性化につながる」が61.9%となっています。

Q14. あなたは、「食品ロス」という言葉やその意味を知っていますか。

	n	%
全体	400	100.0
1 言葉も意味も知っている	330	82.5
2 言葉は知っているが意味は知らない	56	14.0
3 言葉も意味も知らない	14	3.5

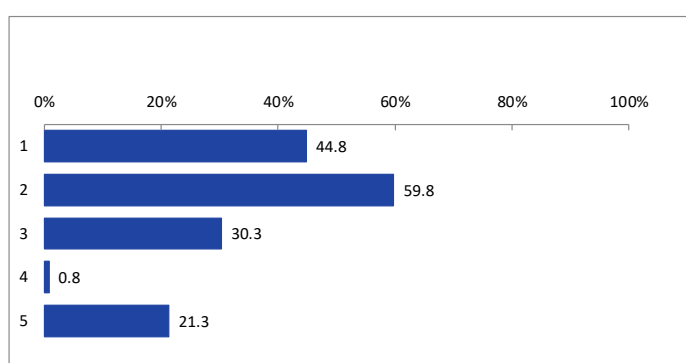


「食品ロス」の「言葉や意味を知っている」が82.5%であり、「言葉も意味も知らない」は3.5%となっています。

Q15. あなたの家庭では、どのような「食品ロス」が発生していますか。「5. まったく発生していない」以外を選ぶ場合は、あてはまるものをすべて選んでください。

※食品ロス：本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと

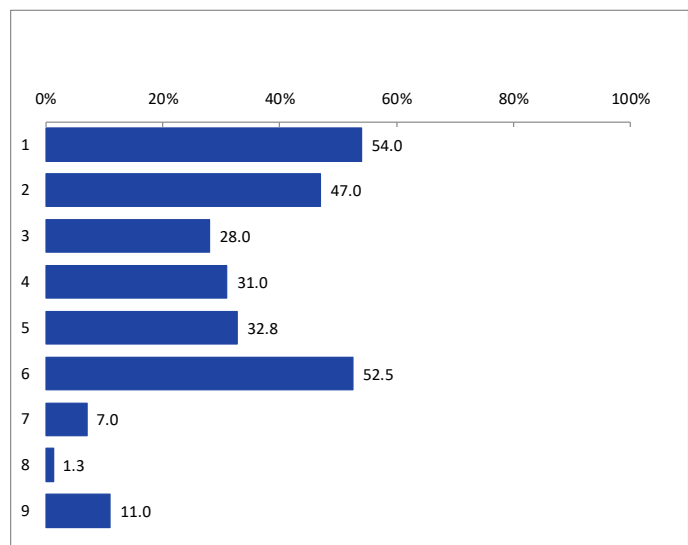
	n	%
全体	400	100.0
1 食べ残し	179	44.8
2 賞味期限・消費期限切れ	239	59.8
3 過剰除去（野菜の皮を厚くむく、肉の脂身を捨てるなど、食べられる部分を捨てること）	121	30.3
4 その他：	3	0.8
5 まったく発生していない	85	21.3



家庭で発生する「食品ロス」は、「賞味期限・消費期限切れ」が59.8%と最も高く、次いで「食べ残し」が44.8%となっています。また、「まったく発生しない」が21.3%となっています。

Q16. あなたの家庭で行っている「食品ロス」を減らすための取組は何ですか。「9. 何もしていない」以外を選ぶ場合は、あてはまるものをすべて選んでください。

	n	%
全体	400	100.0
1 購入した食品を食べることを忘れないように気をつける	216	54.0
2 在庫があるものを購入しないように、冷蔵庫等の在庫確認をしている	188	47.0
3 バラ売り、量り売り、少量パックなどの活用により、適量を購入している	112	28.0
4 料理を作りすぎないようにしている	124	31.0
5 好き嫌いをせずに食べるようにしている	131	32.8
6 食材をすべて使いきるように無駄のない調理をしている	210	52.5
7 余った食材を寄付している	28	7.0
8 その他：	5	1.3
9 何もしていない	44	11.0

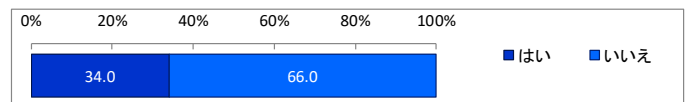


家庭で行っている「食品ロス」を減らすための取組は、「購入した食品を食べることを忘れないように気をつける」が54.0%と最も高く、次いで「食材をすべて使いきるように無駄のない調理をしている」が52.5%となっています。

■あなたは、次のことについて知っていますか。

Q17. (1) 日本の「食品ロス」の量は、国民一人あたり、毎日おにぎり1個分の食べ物を捨てている計算になること

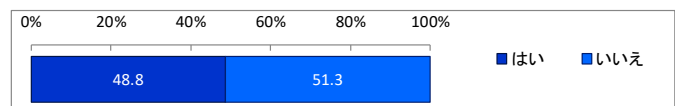
	n	%
全体	400	100.0
1 はい	136	34.0
2 いいえ	264	66.0



日本の「食品ロス」の量が、国民一人あたり毎日おにぎり1個分の食べ物を捨てている計算になることを「知っている」割合は、34.0%となっています。

Q18. (2) 「食品ロス」の約半分は、家庭から発生していること

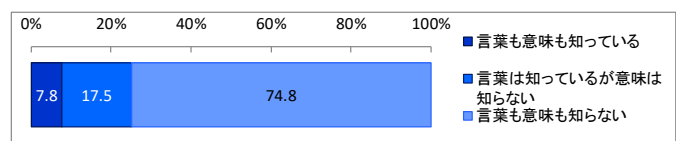
	n	%
全体	400	100.0
1 はい	195	48.8
2 いいえ	205	51.3



「食品ロス」の約半分が家庭から発生していることを「知っている」割合は、48.8%となっています。

Q19. あなたは、「30・10（さんまるいちまる）運動」という言葉やその意味を知っていますか。

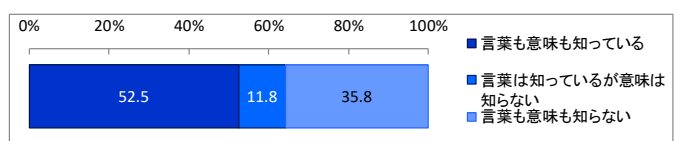
	n	%
全体	400	100.0
1 言葉も意味も知っている	31	7.8
2 言葉は知っているが意味は知らない	70	17.5
3 言葉も意味も知らない	299	74.8



「30・10 運動」の「言葉も意味も知っている」はわずか7.8%であり、「言葉も意味も知らない」が74.8%と最も高くなっています。

Q20. あなたは、「てまえどり」という言葉やその意味を知っていますか。

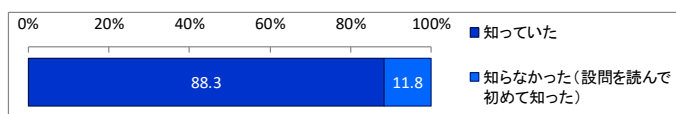
	n	%
全体	400	100.0
1 言葉も意味も知っている	210	52.5
2 言葉は知っているが意味は知らない	47	11.8
3 言葉も意味も知らない	143	35.8



「てまえどり」の「言葉も意味も知っている」は52.5%であり、「言葉も意味も知らない」が35.8%となっています。

Q21. あなたは、「消費期限」は安全に食べられる期限のこと、「賞味期限」は美味しく食べられる期限であること」を知っていますか。

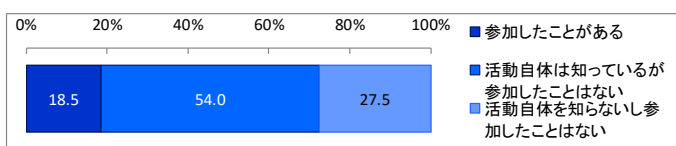
	n	%
全体	400	100.0
1 知っていた	353	88.3
2 知らなかった（設問を読んで初めて知った）	47	11.8



「消費期限」「賞味期限」の言葉の意味を「知っている」は88.3%であり、「知らなかった」が11.8%となっています。

Q22. あなたは、余った食品を寄付する活動（フードバンクへの寄付、フードドライブ）に参加したことがありますか。

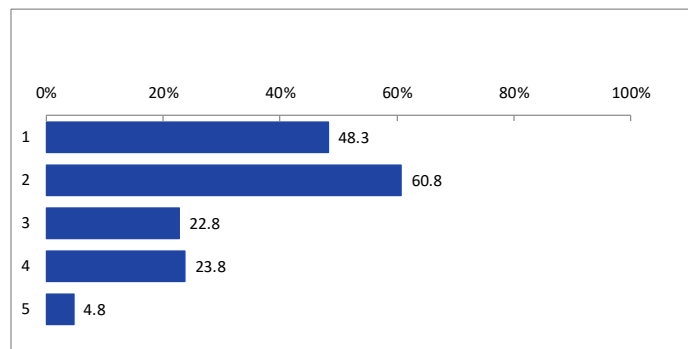
	n	%
全体	400	100.0
1 参加したことがある	74	18.5
2 活動自体は知っているが参加したことはない	216	54.0
3 活動自体を知らないし参加したことはない	110	27.5



余った食品を寄付する活動を「知っているが参加したことはない」が54.0%と最も高く、「活動自体を知らない」の27.5%が、「参加したことがある」の18.5%を上回っています。

Q23. 食品ロス削減の啓発について、どのような方法が効果的だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

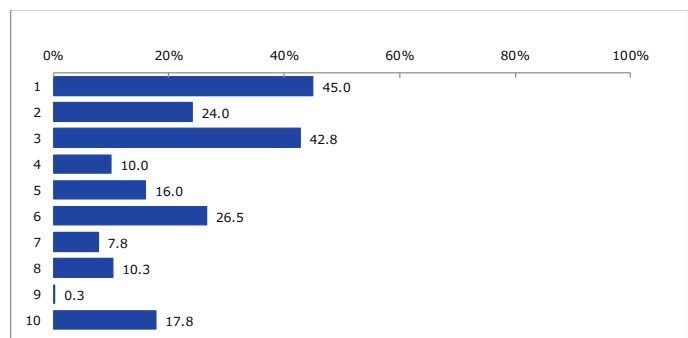
	n	%
全体	400	100.0
1 県の広報誌・ホームページ・ポスターなどで呼びかける	193	48.3
2 食品ロスの実態や削減するための好事例を紹介する	243	60.8
3 食品ロス削減に功績のあった団体などを表彰する	91	22.8
4 食品ロスに関する研修会・講演会を開催する	95	23.8
5 その他：	19	4.8



食品ロス削減の効果的な啓発方法は、「食品ロスの実態や削減するための好事例を紹介する」が60.8%と最も高く、次いで「県の広報誌・ホームページ・ポスターなどで呼びかける」が48.3%となっています。

Q24. あなたは、日頃、食品の安全性や栄養などの食生活や食品ロスに関する情報をどこから得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

	n	%
全体	400	100.0
1 テレビ・ラジオ	180	45.0
2 新聞・書籍・雑誌	96	24.0
3 インターネットやSNS	171	42.8
4 学校での教育、学校からの情報	40	10.0
5 行政機関（県、市町村など）からの情報	64	16.0
6 スーパー、小売店	106	26.5
7 消費者団体	31	7.8
8 知人（家族や友人など）	41	10.3
9 その他：	1	0.3
10 特になし	71	17.8



食生活や食品ロスに関する情報の入手は、「テレビ・ラジオ」が45.0%と最も高く、次いで「インターネットやSNS」が42.8%となっています。